

「今月の1枚」



写真 1 黒潮の海を望む断崖に生育するアコウ



写真2 タブノキに巻き付いて成長するアコウ



写真3 アコウの成熟した果実（果囊（かのう））

アコウ（クワ科イチジク属） *Ficus superba* var. *japonica*

“絞め殺し木”と呼ばれる奇っ怪な生活型をもつ常緑高木です。

照葉樹林の中ではタブノキなどに巻き付いていることが多いですが（写真2）、漁港や海に近い道路沿いでは大岩や石垣、コンクリート擁壁にくっついている個体もよく見かけます。

また、イチジクコバチという昆虫との共生関係もよく知られており、コバチを果実のなかに寄生させて育て、花粉を運んでもらいます。

写真3のような状態の果囊を割ると、2mm弱のアコウコバチのメス（黒色）がいることがあります。

足摺岬周辺では、天然記念物の指定を受けた「松尾のアコウ」が有名です。

（写真・文：大谷達也 2012年6月11日 高知県土佐清水市 足摺岬にて撮影）

（No.232 2012.7.1 掲載）